



FC岐阜

株式会社岐阜フットボールクラブ

代表取締役社長 宮田博之 氏

栗飯原尚平選手、パク ソンス選手のご紹介



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

背番号：24

栗飯原尚平 選手 FW

北海道札幌市出身でコンサドーレ札幌U-18から近畿大学に進学し、卒業と同時に昨年FC岐阜に加入しました。昨シーズンは怪我の影響もあり17試合に出場し2得点4アシストでしたが、今シーズンはすでに25試合に出場して、4得点8アシスト。今シーズンの個人目標は10得点10アシストであり、残り試合は、寒い冬が得意な栗飯原選手の活躍でチーム目標のJ2昇格へ、チームICHIGANとなつての大きな貢献が期待されます。

「コロナ禍では自宅でzoomを活用してのトレーニングや、一人で外を走っていたが、チームメイト達と合同練習が出来るようになって嬉しさが込み上げ、チーム内外との競争、共感、感動は成長の原点と認識しています。休日は金華山や周辺の山に登り、豊かな自然と街が融合していることに感動しています。新型コロナウイルスが落ち着いたらホームタウン応援大使をしている瑞浪市や県内各地にも出かけて散策したいと思っています。食べ物では、岐阜の鰻丼、榎まぶしや焼肉の美味さにハマっていて、岐阜が気に入っています。フォワードなので毎年高得点を獲得できる選手で、ファンの皆さんに元気と感動を与えられる選手になりたいと思っています。」



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

背番号：29

パク ソンス 選手 GK

韓国ソウル市郊外の高校を卒業後に、愛媛FCで5シーズンを過ごし、今シーズンからFC岐阜で活躍しています。

6年目の日本でパーフェクトな日本語で話すことが出来て違和感が全くないのに感心させられます。18才からの6年間で何でも素直に吸収して192センチの身長と共に全て進化している選手です。

コロナ禍で合同練習ができなかった頃からヨガのYouTubeを見て、取り組み始めたお蔭で、体が徐々に柔軟になり、呼吸法によって集中力が増し、リラックスも出来るようになったと話します。好きな言葉は、「後悔を残さないように一生懸命に取り組む」であり、今後の成長を期待しています。

「ホームタウン応援大使の中津川には一度しか行ってないので、今後ゆっくり見に行きたいと思っています。食べ物では寿司が好物ですが、岐阜に来て鰻が美味しくて感激しています。住みやすく、人が優しく、風景の美しいこの岐阜を拠点に練習して試合ができることを嬉しく誇りに思っています。試合では無失点が目標で、ゴールを守り、戦況を見極めて後ろから指示を出したり、激励したり重要なポジションであり、これからJ2昇格に向けてICHIGANでがんばります。」